

事前質問一覧

通番	該当ページ	分野別人権課題	No.	施策の方向性	意見及び質問	回答	関係課
1	1	女性の人権	5	支援体制の充実	相談件数はどれだけありましたか。	令和7年度は配偶者暴力相談件数が延べ28件ありました。	子ども家庭センター
2	1	女性の人権	7	子育て環境の充実	中学生向けのリーフレットを配布した成果はどのようなものがありましたか。また、生徒の反応（実際の声）はどのようなものでしたか。	リーフレットの活用結果について担当教員に調査したところ、「家事などによる負担は妻のほうが大きいことがグラフで示されているなど、ジェンダー平等になっていないことがよく理解できた。」「自分の家庭と比較をしながら、家族の一員として自分も協力しようと思える生徒が多くいた。」といった回答が得られ、男女共同参画社会の実現に向け、一定の成果があったものと考えています。	市民協働課
3	4	高齢者の人権	7	地域における見守り体制等の充実	高齢者と生活する家庭には様々な苦勞が伴いますが、大きな問題に発展しない限り相談が行われることは少ないのではないのでしょうか。そうした問題が深刻化する前の早い段階で、見守りや気配りを行うことが重要だと思います。行政には、これを実現するための支援体制をさらに充実させていただきようお願いします。	地域包括支援センターを中心に、高齢者の相談窓口については情報を広く周知しているところです。一般的には、高齢者と生活しているご家庭における相談の必要性については、各家庭の判断に委ねられていると考えます。地域の方々等から高齢者に関する心配な家庭の情報が寄せられた場合には、速やかに相談や対応につなげるよう努めています。	高齢福祉課
4	5	障がい者の人権	1	障がい者に対する理解促進	令和8年度は、具体的にどのような取り組みを行いますか。	ホームページ、広報紙等により、一人ひとりが障害福祉への関心を深め、誰もが自分らしい暮らしができる地域社会を目指すよう啓発を行います。また、県と協力してヘルプマーク、ヘルプカードの普及を図ります。その他、人権を考える会や人権作文コンクールなどを通じて、人権についての理解促進を図ります。	福祉課
5	6	障がい者の人権	8	切れ目のない支援体制の充実	令和8年度の取り組みとして、「子ども・子育て部会においては、横の繋がりを強化し、」とありますが、具体的にはどのように切れ目のない支援体制構築を図りますか。	各所属や関係機関において、引継ぎ時期や方法等のルール作りを行うとともに、市民の方が必要とする情報を得やすくするための情報の整理（情報の内容や提供方法）を行います。	福祉課
6	6	障がい者の人権	12	スポーツ・文化芸術活動等の推進	障がい者団体等のポッチャ大会の参加の実態はどのようでしたか。	令和7年度（第4回羽島市ポッチャ大会）は障がい者団体等からは2チーム、羽島特別支援学校所属生徒を含むチームは2チームの参加がありました。	福祉課 スポーツ推進課
7	7	外国人の人権	6	外国人の人権に関する啓発の推進	市民協働課と学校教育課の関わりをはじめとした、横の連携はどのようにしていますか。	市民協働課と学校教育課の間だけでなく、小中学校、義務教育学校とも連携し、スリランカの文化等を紹介する授業やスリランカの児童とのオンライン交流を希望のあった小学校で行うことで、異文化理解の促進を図りました。	市民協働課
			7	国際理解教育の推進			学校教育課
8	8	インターネットによる人権侵害	8	情報教育の推進	学校での児童生徒への指導はある程度成果は上がると思われませんが、保護者や地域への働き掛けは難しく十分でないように思います。現状から考え今後具体的にどのような手立てを考えていますか。	児童生徒には学習を通して、保護者には配信アプリでの通信の配信やPTA活動として、今後も情報モラル教育やデジタルシティズンシップ教育として引き続き指導していきます。地域への働きかけは難しい面もあったため、今後も方法を検討していきます。	教育支援センター